No.60
2007年11月1日号
各チームの購読料はチーム登録料に含まれています。定価（一部100円）

㈳熊本県サッカー協会だより

発行／㈳熊本県サッカー協会
〒860-0831
熊本市八王寺町９－60
ＴＥＬ　096－334－5565
ＦＡＸ　096－334－5568
発行者／©広報記録委員会
石丸　捷一

全国クラブチームサッカー大会IN長崎

本県代表の菊陽キャロッツは準優勝に

第14回全国クラブチームサッカー大会九州予選は、9月22日（土）23日（日）に、長崎県国見総合運動公園多目的広場と長崎県立百花台運動公園サッカー場で行われた。

優勝したのは大分県代表のN・B・U VALENTE 2007である。

本県代表の菊陽キャロッツは惜しくも準優勝になった。

大分県の代表は今年卒業した19～20歳の選手で固めた若いチームで、23日の準決勝と決勝戦のダブルヘッダーに臨む。

右のような状態で試合は行われるが、大分県代表は走り勝ちとなった。

両日ともに晴天の暑い日となった中でのダブルヘッダーはキツイ。特に一方が若ければ若い方が強いと広報委員は思った。

特に熊本県代表の菊陽キャロッツは、応援団も来島したが準優勝したのも応援のおかげであると思いました。

決勝戦は2－0、後半3－0で大分の勝ちとなった。

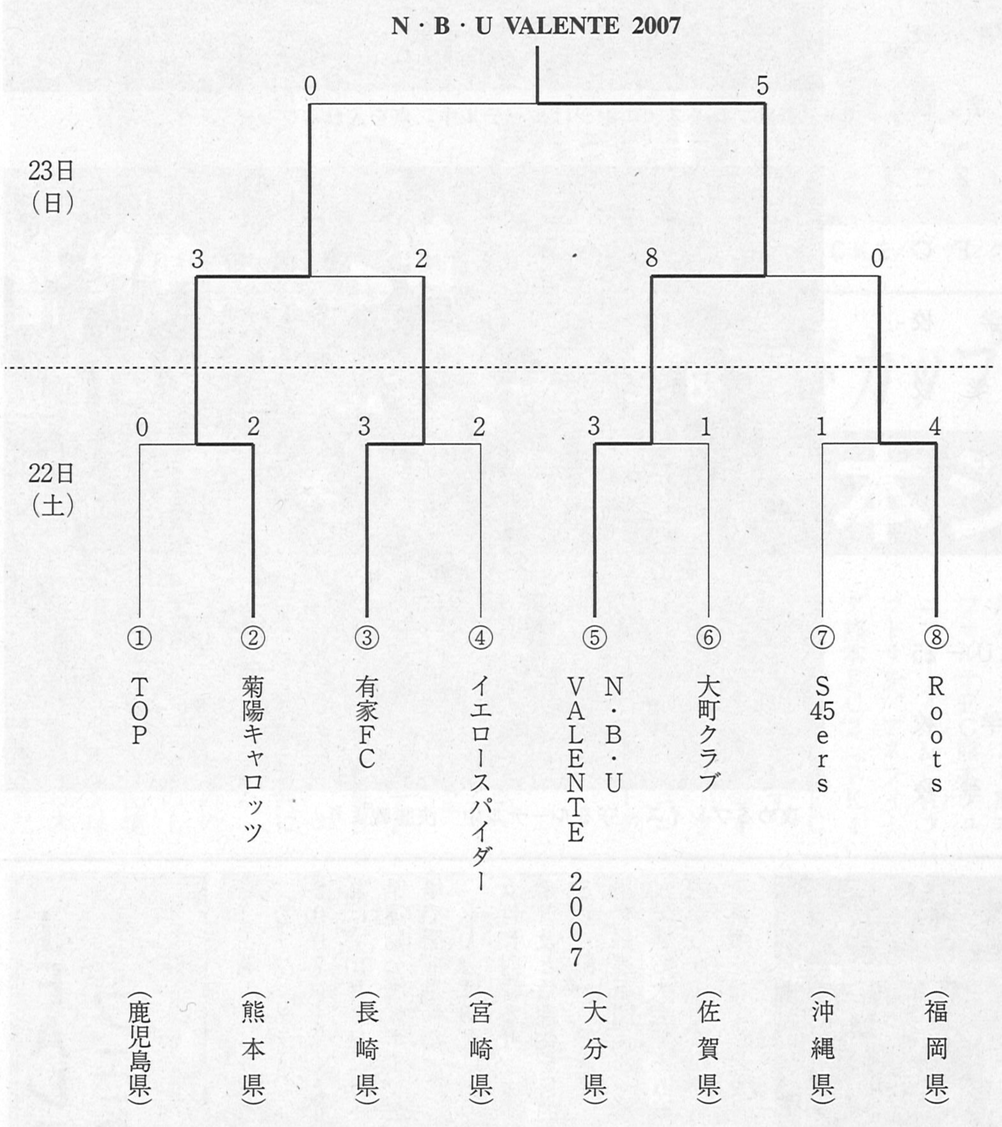
また長崎県の国見町は特にグラウンドがすばらしく、芝の状態もこの上なしであった。

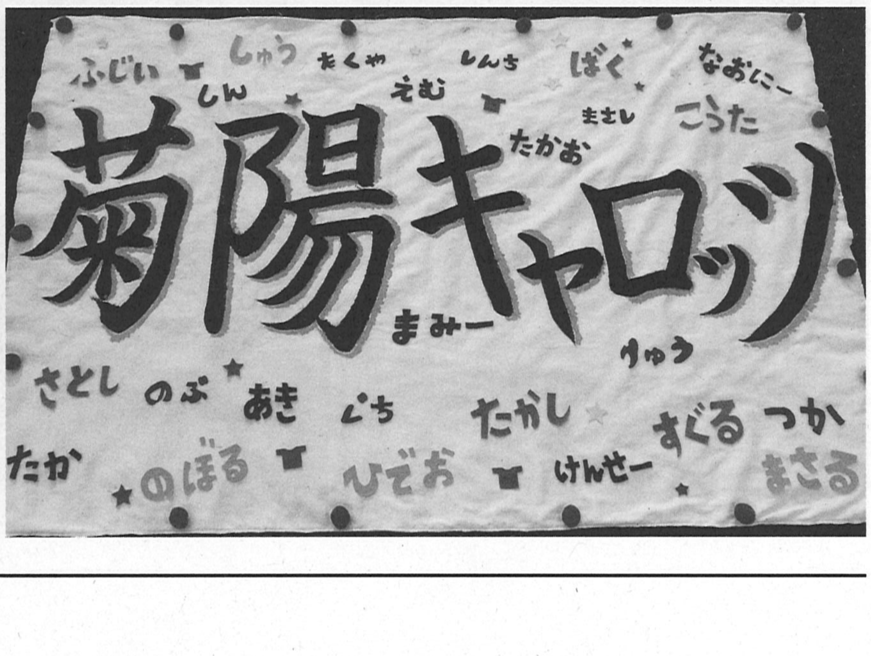
しかし全国大会には九州の枠は一つしかなく、菊陽キャロッツは涙をのんだ。

応援の皆様には本当に頭の下がる思いがしたので、ここに記すことにする。

第14回　全国クラブチームサッカー大会九州大会ＩＮ長崎

長崎県国見総合運動公園多目的（A）
長崎県立百花台運動公園サッカー場（B）





平成19年度 高円宮杯全国ユース（U－15）サッカー選手権熊本大会

ブレイズ熊本　初優勝を飾る

高円宮杯全日本ユース（U－15）サッカー選手権県大会は23・24両日、県民総合運動公園補助競技場で準決勝・決勝を行い、決勝はブレイズ熊本がルーテル中を3－0で下して初優勝した。

ブレイズ熊本は前半5分過ぎ、左CKからFW清田研介がヘディングを決め先制。同20分過ぎにはルーテル中のオウンゴールで2－0とリードを広げて、前半を折り返した。

後半も両サイドを起点に、再三相手ゴールを脅かし、15分過ぎには右サイドでパスを受けたMF本田瑞貴が中央へドリブルで切り込んで3点目を決めた。

ブレイズ熊本イレブンは優勝にも大はしゃぎせず、淡々とスタンドに一礼。

「本当はうれしいはず。この後に九州、全国大会があるし、気を引き締めているんでしょう」

中山貴夫監督は、チームにみなぎる緊張感を分析した。

8月の日本クラブユース選手権で決勝トーナメントに進出、一回戦でアルビレックス新潟を下しベスト8に進んだが、畑本時央主将は「終盤の粘りが足りない。もっと勝ち進みたかった」とコメントした。

次はJチームを倒したい。

文は、熊本日日新聞19年9月25日付。

平成19年度高円宮杯全国ユース（U－15）サッカー選手権熊本県大会

予選リーグ

試合時間	対戦カード				
10:00～	ルーテル中学校	0	(0－1 / 0－0)	1	ブレイズ熊本
11:30～	UKI－C．FC	0	(0－0 / 0－0)	0	阿蘇北中学校
10:00～	バレイアSC U－15	0	(0－2 / 0－0)	2	小川中学校
11:30～	山鹿中学校	0	(0－3 / 0－3)	6	フォルテFC
10:00～	バレイアSC U－15	2	(1－1 / 1－0)	1	フォルテFC
11:30～	小川中学校	0	(0－0 / 0－1)	1	山鹿中学校
10:00～	ルーテル中学校	1	(0－0 / 1－0)	0	阿蘇北中学校
11:30～	ブレイズ熊本	3	(0－0 / 3－0)	0	UKI－C．FC
10:00～	ルーテル中学校	5	(5－0 / 0－0)	0	UKI－C．FC
11:30～	バレイアSC U－15	3	(1－0 / 2－0)	0	山鹿中学校
13:00～	ブレイズ熊本	2	(1－0 / 1－2)	2	阿蘇北中学校
14:30～	小川中学校	3	(2－1 / 1－0)	1	フォルテFC

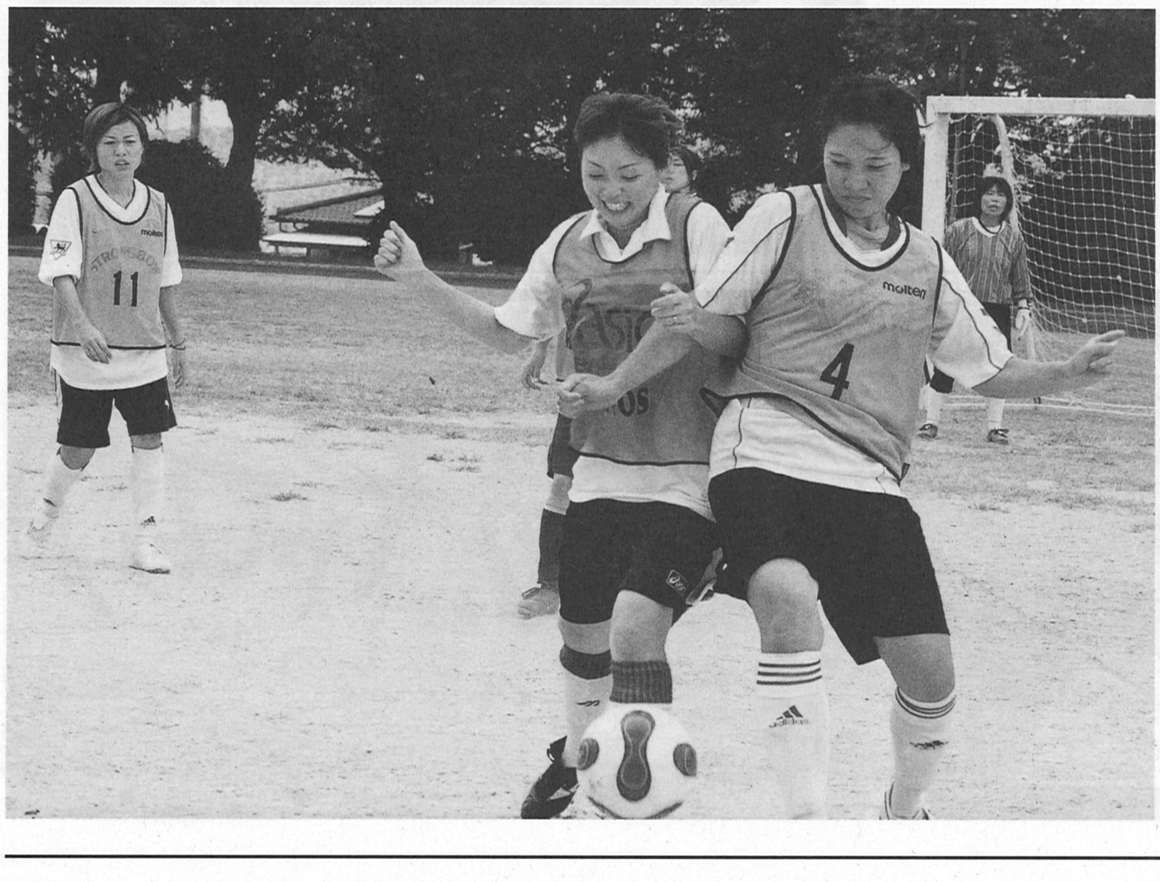
決勝トーナメント

試合時間	対戦カード				
10:00～	ブレイズ熊本	3	(1－2 / 2－0)	2	バレイアSC U－15
11:30～	ルーテル中学校	2	(1－0 / 1－0)	0	小川中学校
10:00～	ブレイズ熊本	3	(2－0 / 1－0)	0	ルーテル中学校

黄はブレイズ、エンジはルーテル中。点を入れるブレイズ

攻めるブレイズ、守るルーテル中　決勝戦より

JFAレディースサッカーフェスティバル2007 in くまもと



JFAレディースサッカーフェスティバル2007 in くまもとは、10月8日（月）県運動公園スポーツ広場で開催された。

本大会は18歳以上の女性に対するサッカーの普及と活性化を目的とし、協会登録選手・未登録選手関係なく参加できる大会であり県内から8チームが出場し熱戦を繰り広げた。

協会未登録選手の編成4チーム、登録選手の編成4チームに分かれ、総当りのリーグ戦を行う。日頃は子供達の応援側であるママさんが今大会のために結成したチームや、現役を退いた若い選手なども出場し、白熱した戦いの中には笑いも混じりながら繰り広げられた。

結果は、未登録選手の部で矢部FCリラックスが優勝し、登録選手の部ではUNITED学園レアルゴールドが優勝した。

尚、11月23日（金）に「なでしこサッカーフェスティバル（JFAレディース／ガールズサッカーフェスティバル2007）が熊本県民運動公園で開催される。

文と写真は荒木直子

第9回 日本フットボールリーグ(JFL)後期(第11節)

ロッソ熊本はホンダFCと引き分ける　勝ち点55で2位

第9回日本フットボールリーグ（ＪＦＬ）後期第11節は10月20日、各地で5試合を行った。

ロッソ熊本は県民総合運動公園陸上競技場で6位のホンダＦＣと対戦、1―1で引き分けた。

2連敗中だったロッソにとって、3試合ぶりの勝点1。

通算成績は、17勝4分け7敗の勝点55で、順位は2位のまま、Ｊリーグ参入条件となる4位内キープに向けて、わずかに前進した。

立ち上がりから守勢に立ったロッソは前半11分、ホンダゴール近くで得たＦＫに、出場停止が終ったＤＦ上村健一が頭で合わせて先制。

その後、やや盛り返し何度か好機を作ったが、追加点は奪えず折り返した。

後半は再びホンダのゲーム支配を許す展開。15分に右サイド深くからのクロスボールを、ゴール正面でＭＦ土屋貴啓に合わせられ追い付かれた。

ロッソはＭＦ山口武士、ＦＷ山内祐一を投入して局面打開を図ったが、試合はホンダの攻勢に終始した。

他会場では横河武蔵野ＦＣがＴＤＫに4―1と大勝。佐川印刷はソニー仙台ＦＣに後半の連続ゴールで3―2と逆転勝ちした。ＦＣ琉球も終了間際の決勝点でアルテ高崎を振り切った。

本文は熊本日日新聞19年10月21日付を引用する。

前半11分、ロッソの上村⑲がヘッドで先制ゴールを決める

後半26分、ＣＫをパンチングでクリアするロッソＧＫ小林弘

YES/RKK SPORTS バーモンドカップ 第17回全日本フットサル熊本県大会

フォルテFC熊本ジュニア　初優勝

第17回ＹＥＳ／ＲＫＫ ＳＰＯＲＴＳバーモンドカップ・全日本フットサル熊本県大会の決勝トーナメントは、10月20日（土）アクアドームで行われた。

決勝戦ではフォルテＦＣ熊本ジュニアがエスペランサ熊本を延長戦2―1で破り、初優勝を飾った。

尚、フォルテＦＣ熊本ジュニアは、平成20年1月4日より東京・駒沢体育館で開かれる全国大会に出場することが決定した。

決勝トーナメント▽一回戦、長嶺スターズ対黒石団地ジュニアは3―1で長嶺スターズの勝ち。エスペランサ熊本3―1ランザ熊本、フォルテＦＣ熊本ジュニア5―4ＹＭＣＡフットサル、アスフィーダ熊本ＦＣ2（ＰＫ4―2）2ＹＭＣＡＦＣ。

次に準決勝を記す。エスペランサ熊本4―3長嶺スターズ、フォルテＦＣ熊本ジュニア8―3アスフィーダ熊本ＦＣとなった。

決勝戦

フォルテFC熊本ジュニア			エスペランサ熊本
2	0―0		1
	1―1		
	1―0		
	0―0		

優勝したフォルテＦＣ熊本ジュニアは延長戦の末勝利したが、エスペランサ熊本も共に実力では同格だった。

観客は少ないものの、皆よく走った。その上で頑張った。特に記憶に残っているシーンは、相手を引きつけてパスを出す攻撃戦術だった。

延長前半１点をフォルテが取る。ＧＫはエスペランサ

黄はエスペランサ、白はフォルテ。エスペランサゴールの前

第13回 九州シニアサッカー大会in長崎（島原）

ランザ熊本・八代シニアは予選突破できず Vは鹿児島四十雀初

第13回九州シニアサッカー大会は風が吹く中で行われた。

今年は長崎県の当番にて島原市復興アリーナで各県2チームの16チームで開催した。

優勝したのは鹿児島四十雀のチームであった。

各県2チームの16チーム参加で4グループに分け、各組1位のみが9月30日の決勝トーナメントに進出すると共に来年のシードチームになる。

組合せは九州サッカー協会の方で行うようになる。

グラウンドの方も各組がクレーを1面使用するように配慮する。芝は3面で、クレーの数は1面であるが、各チームに片寄らないようにする。

又審判もレフリーは同県の方は除くようにした。

尚、副審は長崎県サッカー協会の方々にご尽力してもらう。

ベスト4には鹿児島四十雀FC、中津OB・SC、3位の福岡県の三宅シニアと長崎県代表の諫早オールドサッカークラブとなった。

準決勝もPK戦になった。

両チーム譲らず3―1、4―3で勝利したのは鹿児島と大分代表だった。

決勝戦は鹿児島四十雀FC対大分代表の中津OB・SCとなるが、これもPK戦となり鹿児島初Vとなる。

第13回九州シニアサッカー大会

予選リーグ

Aグループ

	三宅シニア	ランザ熊本	星ヶ峯ＦＣ	児湯パープル	勝点	得失点	順位
三宅シニア		1－0	3－1	5－0	9	8	①
ランザ熊本	0－1		4－0	2－1	6	4	2
星ヶ峯ＦＣ	1－3	0－4		2－1	3	－5	3
児湯パープル	0－5	1－2	1－2		0	－7	4

Bグループ

	中津ＯＢ	げんじん	紅葉クラブ	大村あご	勝点	得失点	順位
中津ＯＢ・ＳＣ		2－1	3－0	1－0	9	5	①
げんじん	1－2		3－2	2－0	6	2	2
紅葉クラブ	0－3	2－3		2－0	3	－2	3
大村あご	0－1	0－2	0－2		0	－5	4

Cグループ

	鹿児島四十雀	福岡四十雀	セレッソ西都	日清シニア	勝点	得失点	順位
鹿児島四十雀ＦＣ		1－1	8－0	6－0	7	14	①
福岡四十雀ＳＣ	1－1		7－0	2－0	7	9	2
セレッソ西都＋Ｘ	0－8	0－7		3－0	3	－12	3
日清シニア	0－6	0－2	0－3		0	－11	4

Dグループ

	諫早オールド	八代シニア	工業クラブ	別府始新蹴	勝点	得失点	順位
諫早オールドＳＣ		1－0	2－0	2－0	9	5	①
八代シニアＳＣ	0－1		2－1	2－0	6	2	2
工業クラブＯＢ	0－2	1－2		2－0	3	1	3
別府始新蹴ＳＣ	0－2	0－2	0－2		0	－6	4

決勝トーナメント（準決勝）

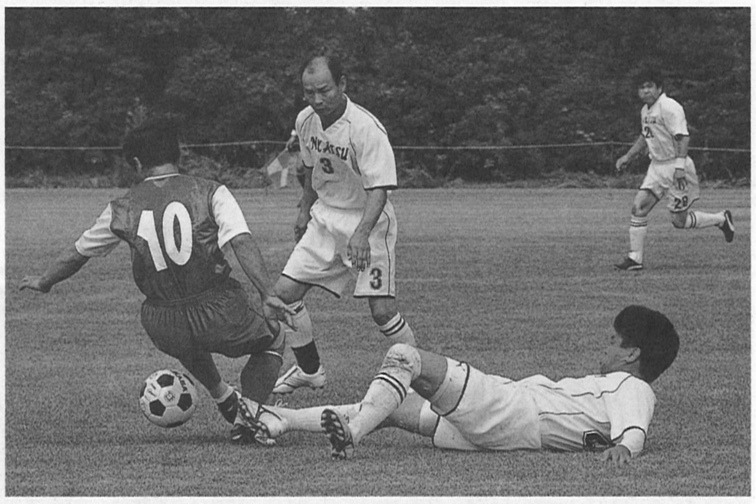
Ｂグループ１位	1－1	Ａグループ１位
中津ＯＢ・ＳＣ	ＰＫ4－3	三宅シニア
Ｃグループ１位	1－1	Ｄグループ１位
鹿児島四十雀ＦＣ	ＰＫ3－1	諫早オールドＳＣ

決勝トーナメント（決勝）

Ｃグループ１位	1－1	Ｂグループ１位
鹿児島四十雀ＦＣ	ＰＫ3－2	中津ＯＢ・ＳＣ

優　勝	鹿児島四十雀ＦＣ
準優勝	中津ＯＢ・ＳＣ
3　位	諫早オールドＳＣ
3　位	三宅シニア

上と共にＡグループ　ランザ熊本対三宅シニア



白は準優勝の中津ＯＢ

初Ｖした鹿児島四十雀のイレブン

初Ｖした鹿児島四十雀の面々、ＧＫをたたえる